

育てたい子ども像

言葉の力を使って思いや考えを伝えあい、理解し合い、ともに生きていこうとする子ども

発達段階	育てたい子ども像	単元 学習活動	つけたい言葉の力・育てたい姿勢		
			[話す・聞く力]	[話し合い]	
I 期	小学校 1学年	「おはなし きいて」 経験したことを報告したり、それらを聞いて感想を述べたりする。	○経験の中からみんなに話したいことを選び、話の順序を考えながら、丁寧な言葉を使って話す。 ○話の大事なことを落とさないように興味をもって聞く。	話の順序 声の大きさや速さ 大事なことを落とさないで聞く	
		「これは、なんでしょう」 尋ねたり応答したりする。物事の説明をする。		○分からないことや詳しくききたいことを尋ねたり、それに答えたりする。 尋ねる、答える	
	2学年	「ともさんはどこかな」 迷子探しゲームをする。 必要なことについて身近な人と連絡し合う。	○絵の内容に興味をもち、大事なことを聞き落とさないようにしながら、聞く。 ○必要な事柄を選び、声の大きさや速さに注目して、はっきりと話す。		
		「あったらいいな、こんなもの」 自分が考えた道具について、互いに紹介する。	○自分が考えた道具について、説明に必要な事柄を考え、分かりやすく話す。	○互いの話を集中して聞き、お互いの気持ちを理解し合う。 話題に沿って	
	3学年	「つたえよう、楽しい学校生活」 学校生活を振り返り、楽しさを伝える。 グループで説明したい内容を話し合う。 インタビューの仕方を知る。	○準備をしたうえで、丁寧な言葉を用いるなど、適切な言葉遣いでインタビューする。	○互いの考えの共通点や相違点を考えながら、説明する内容や方法について話し合う。 ○司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合う。	
	4学年	「しりょうから分かったことを発表しよう」 図表や写真に基づき、話をしたり、聞いたりする。	○分かったこと、考えたことについて、筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話す。 ○相手を見て、大事な言葉や部分を強調したり、間の取り方などに注意しながら話す。 筋道を立てる 話の中心	○関心のあることをなどから話題を決め、必要なことについて調べ、要点をまとめる。 進行に沿って	
「俳句に親しもう」 俳句を音読したり、季節の言葉集めや中学生の俳句を鑑賞したりすることで俳句に興味をもち、俳句作りをする。		○季節の風景を言葉に表したり、思い浮かぶことを書き出したりする。	○感じ方や表現のよさなどを話し合う。		
「ごんぎつね」 ごんぎつねを読んで考えたことを発表し合い、互いの考えの共通点を考えながら話し合う。	○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の行動や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像したことを話す。	○考えの違いや共通点を考えながら話し合い、一人一人の感じ方の違いに気付く。			
II 期	5学年	「だれもがかかわり合えるように」 調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりする。	○相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、話し方の工夫を考えて話す。 ○話題の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりする。	○関心のあることなどをから話題を決め、必要なことを調べて要点をメモする。	
		「未来がよりよくなるために」 自分の考えをまとめて、討論する。 意見を聞き合って考えを深め、意見文を書く。	○自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。	○互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う。 意図をはっきりさせ計画的に	
	6学年	「すいせんします」 理由を明確にして、推薦したり、それを聞いたりする。	○収穫した知識や情報を関連づけて、目的や意図に応じた話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。 ○話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。	目的や意図に応じて話の構成の工夫	
		「学級討論会をしよう」 立場を明確にして、推薦したり、それを聞いたりする活動をする。	○討論会の話題に沿って、話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。	○互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合う。	
	中学校 1学年	相手の思いを受け止め 相手を理解しようとする 子ども	「今、わたしは、ぼくは」 話し方を工夫し、資料を示してスピーチをする。	○12歳の今思うことを伝えるために、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。 ○話し手の思いを受け止めながら聞き、自分の思いや体験と比べるなどして感想をまとめる。	
			スピーチしよう 日常生活の中の話について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言したりする。	○聞き手の反応に注意しながら話す。 ○さらに知りたいことやわからないことについて質問する。 聞き手の反応	
討論ゲームをしよう 日常生活の中の話について討論を行う。			○相手の意見をふまえながら話す。 ○相手の発言を聞いて、自分の考えをまとめる。		
III 期	2学年	パネルディスカッションをしよう 社会生活の中の話について司会や提案者などを立てて討論を行う。	○異なる立場や考えの人にもわかるように自分の考えをまとめる。 立場や考えの違いを踏まえ	○相手の立場や考えを尊重し、目的にそって話し合う。 相手の立場や考えを尊重し	
		紹介スピーチをしよう くじにより指定された人とペアを組み、互いにインタビューをし合い、相手の魅力を全体の前で紹介し合う。	○目的に応じて聞き取り、要約することができる。 ○構成を工夫して話すことができる。		
	3学年	句会をしよう 取り合わせによる俳句づくりをする。句会を開き、意見交換の中で、俳句に対する考察を深める。	○敬語を適切に用いて俳句についての自分の考えを述べる。	○俳句から読み取れる情景や心情の広がりを発表し合い、意見交流をすることによって俳句についての自らの考えを深める。	
		企画会議を開こう 社会生活の中の話について、相手を説得するために意見を述べ合う。	○資料などを活用して説得力のある話をする。 資料などの活用	○話し合いの展開や進行を工夫し、互いの考えをいかし合う。 展開や進行の工夫	
対話劇を体験しよう 時間や場の条件に合わせてスピーチしたり、それを聞いて自分の表現に参考にしたりする。	○状況や相手に応じて言葉を使い分ける。 ○ふだんの話し言葉について考えを深める。				